

天津祝詞・大祓祝詞

全文・ふりがな付き

縦書き読誦版

天津祝詞

高天原に神留り坐す

たかまのはらにかむづまします

神漏岐神漏美の命以ちて

かむろぎかむろみのみこもちて

皇親神伊邪那岐大神

すめみおやかむいざなぎのおほかみ

筑紫の日向の橘の

つくしのひむかのたちばなの

小戸の阿波岐原に

をどのあはぎはらに

御禊祓ひ給ふ時に

みそぎはらひたまふときに

生坐せる祓戸の大神等

あれませるはらへどのおほかみたち

諸々の禍事罪穢を

もろもろのまがことつみけがれを

祓へ給ひ清め給ふと

はらへたまひきよめたまふと

申す事の由を

まをすことのよしを

天津神国津神

あまつかみくにつかみ

八百万の神等共に

やほよろづのかみたちともに

聞し食せと

きこしめせと

恐み恐みも白す

かしこみかしこみもまをす

大祓祝詞

高天原に神留り坐す

たかまのはらにかむづまります

皇親神漏岐神漏美の命以ちて

すめらがむつかむろぎかむろみのみこともちて

八百万神等を

やほよろづのかみたちを

神集へに集へ賜ひ

かむつどへにつどへたまひ

神議りに議り賜ひて

かむはかりにはかりたまひて

我が皇御孫命は

あがすめみまのみことは

豊葦原水穗国を

とよあしはらのみづほのくにを

安国と平けく知ろし食せと

やすくにとたひらけくしろしめせと

事依さし奉りき

ことよさしまつりき

此く依さし奉りし国中に

かくよさしまつりしくぬちに

荒振る神等をば

あらぶるかみたちをば

神問はしに問はし賜ひ

かむとはしにとはしたまひ

神掃ひに掃ひ賜ひて

かむはらひにはらひたまひて

語問ひし磐根樹根立

こととひしいはねきねたち

大祓祝詞

草の片葉をもことやめて
語止めて

天の磐座放ち

天の八重雲を

伊頭の千別きに千別きて

天降し依さし奉りき

此く依さし奉りし四方の国中と

大倭日高見国を

安国と定め奉りて

下つ磐根に宮柱太敷き立て

高天原に千木高知りて

皇御孫命の瑞の御殿仕へ奉りて

天の御蔭日の御蔭と

隠り坐して

安国と平けく知ろし食さむ

大祓祝詞

くぬちになりいでむあめのますひとらが
国中に成り出でむ天の益人等が

あやまちをかしけむくさぐさのつみごとは
過ち犯しけむ種々の罪事は

あまつみくにつつみ
天津罪国津罪

ここだくのつみいでむ
許許太久の罪出でむ

かくいではあまつみやこともちて
此く出でば天津宮事以ちて

あまつかなぎをもとうちきり
天津金木を本打ち切り

すゑうちたちて
末打ち断ちて

ちくらのおきくらにおきたらはして
千座の置座に置き足らはして

あまつすがそをもとかりたち
天津菅麻を本刈り断ち

すゑかりきりて
末刈り切りて

やはりにとりさきて
八針に取り辟きて

あまつのりとふとのりとごとをのれ
天津祝詞の太祝詞事を宣れ

かくのらばあまつかみは
此く宣らば天津神は

あめのいはとおしひらきて
天の磐門を押し披きて

大祓祝詞

天の八重雲をあめのやへぐもを

伊頭の千別きに千別きていつのちわきにちわきて

聞きしめさむきこしめさむ

国津神は高山の末くにつかみはたかやまのすえ

短山の末に上り坐してひきやまのすえにのぼりまして

高山の伊褒理たかやまのいほり

短山の伊褒理を搔き別けてひきやまのいほりをかきわけて

聞きしめさむきこしめさむ

此く聞きしめしてばかくきこしめしてば

罪と云ふ罪は在らじとつみといふみはあらじと

科戸の風の天の八重雲をしなどのかぜのあめのやへぐもを

吹き放つ事の如くふきはなつことのごとく

朝の御霧夕の御霧をあしたのみぎりゆふべのみぎりを

朝風夕風の吹き払ふ事の如くあさかぜゆふかぜのふきはらふことのごとく

大祓祝詞

大津辺に居る大船を

おほつべにをるおほふねを

舳解き放ち艫解き放ちて

へときはなちともときはなちて

大海原に押し放つ事の如く

おほうなばらにおしはなつことのごとく

彼方の繁木が本を

をちかたのしげがもとを

焼鎌の利鎌以ちて

やきがまのとがまもちて

打ち掃ふ事の如く

うちはらふことのごとく

遺る罪は在らじと

のこるつみはあらじと

祓へ給ひ清め給ふ事を

はらへたまひきよめたまふことを

高山の末短山の末より

たかやまのすゑひきやまのすゑより

佐久那太理に落ち多岐つ

さくなだりにおちたぎつ

速川の瀬に坐す

はやかはのせにます

瀬織津比売と云ふ神

せおりつひめといふかみ

大海原に持ち出でなむ

おほうなばらにもちいでなむ

此く持ち出で往なば

かくもちいでいなば

大祓祝詞

荒潮あらしほのの潮しほのの八百道の

八潮道やしほぢのしほのの潮やほあひにの八百会ますに坐す

速開都はやあきつひめといふ比売かみと云ふ神

持ち加もちか加か呑のみみてむ

此かくく加か加か呑のみみてば

氣吹戸いぶきどにに坐す

氣吹戸いぶきどぬしといふ主かみと云ふ神

根国底国ねのくにそこのくにに氣吹いぶきは放なちてむ

此かくいぶきはく氣吹なき放なちてば

根国底国ねのくにそこのくにに坐す

速佐須良比売はやさすらひめといふと云ふ神

持ち佐須良もちさすらひうしなひてむひ失うしなひてむ

此かくさすらひうしなひてばく佐須良さすらひひ失うしなひてば

罪つみといふと云ふ罪つみはは在あららじと

大祓祝詞

祓へ給ひ清め給ふ事を
はらへたまひきよめたまふことを

天津神国津神
あまつかみくにつかみ

八百万神等共に
やほよろづのかみたちともに

聞きし食せとまをす
聞し食せと白す